

1.	④	11.	③	21.	④	31.	①	41.	②
2.	①	12.	③	22.	④	32.	①	42.	①
3.	④	13.	②	23.	④	33.	①	43.	③
4.	②	14.	④	24.	②	34.	③	44.	②
5.	③	15.	④	25.	③	35.	②	45.	③
6.	②	16.	③	26.	④	36.	④	46.	④
7.	②	17.	③	27.	③	37.	①	47.	③
8.	③	18.	③	28.	②	38.	③	48.	④
9.	③	19.	①	29.	④	39.	④	49.	④
10.	④	20.	④	30.	③	40.	①	50.	④

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「ocean」です。①の「sea」も「海」ですが、ocean よりも狭い範囲の海域（日本海 the Sea of Japan など）を指すことが多いです。②「lake」は「湖」、③「river」は「川」です。

◆補足：世界には5つの大洋があります。the Pacific Ocean（太平洋）、the Atlantic Ocean（大西洋）、the Indian Ocean（インド洋）、the Arctic Ocean（北極海）、the Antarctic/Southern Ocean（南極海）です。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「やあ、調子はどう？」です。「What's up?」は非常に一般的でカジュアルな挨拶で、「How are you?」や「What's new?」に似ています。一般的な返事は「Not much, you?」（別に、そっちは？）です。時には「What's the matter?」（どうしたの？）を意味することもあります。最も頻繁な使い方はカジュアルな「こんにちは」です。他の選択肢は全く異なる質問を表します。

◆補足：「Hey」や別の「What's up?」で返事をするだけでも構いません。いつも詳しい答えが必要なわけではありません。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「aquarium」です。「I saw many kinds of fish at the aquarium.」(私は水族館でたくさんの種類の魚を見ました。) ①「museum」は「博物館」、②「theater」は「劇場」、③「library」は「図書館」です。

◆補足：aqua はラテン語で「水」を意味する言葉です。aquarium の複数形は aquariums または aquaria となります。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②「～なしで、～なしに」です。「I can't live without you.」(あなたなしでは生きられません。) ①「～と一緒に」は with で、ちょうど反対の意味になりますね。③「～の内部に」は within、④「～について」は about です。

◆補足：without doing の形で「～しないで」という意味も作れます。例：He left without saying goodbye. (彼はさよならも言わずに去った。)

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「(果物・野菜の) 汁、ジュース」です。例えば、「I like orange juice.」(私はオレンジジュースが好きです)。①「氷」は ice、②「水」は water、④「牛乳」は milk です。

◆補足：英語では、juice は通常 100%の果物や野菜のジュースを指します。コーラのような炭酸飲料はしばしば soda や pop と呼ばれます。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「風邪をひく」です。a をつけて使う、つまり可算名詞として使う cold には「風邪」という意味がありますが、①の「氷」や④の「寒さ」という意味はありません。また、もうすでに風邪をひいている状態を表すときは「have a cold」と言います。

◆補足：cold には形容詞で「寒い、冷たい」という意味があります。また不可算名詞としては「寒さ、寒気」という意味もあります。品詞や意味を文脈から正しく判断しましょう。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②「pick out」です。「She picked out a nice dress for the party.」(彼女はパーティーのために素敵なドレスを選び出した。)
①「pick up」は「～を拾う」、③「check out」は「～を調べる、借りる」、④「find out」は「～を見つけ出す、知る」という意味です。

◆補足：choose も「選ぶ」ですが、pick out はより時間をかけて慎重に選ぶイメージがあります。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「instead」です。「I don't have coffee. Would you like tea instead?」(コーヒーがありません。代わりに紅茶はいかがですか?)
①「inside」は内部に、②「indeed」は本当に、④「instep」は足の甲を意味します。

◆補足：instead of ～という表現は「～の代わりに」を意味します。例：「I'll have tea instead of coffee.」(コーヒーの代わりに紅茶をいただきます)。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「feel well」です。この表現は健康状態が良いことを言うために使われます。例えば、「I didn't feel well this morning, so I stayed home.」(今朝は体調が良くなかったので、家にいました)。
①「fine good」は形容詞が二つ並んでしまっています。②「feel sick」は反対に気分が悪いという意味になってしまいます。④「feel fine」は、気分や精神状態が「大丈夫。まあ、問題ないよ」という感覚を表します。健康状態(体調)が良いと言うには③が最適です。

◆補足：体調が良くない場合には、「I don't feel well.」と言うのが一般的です。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「sale」です。「This shirt was on sale.」(このシャツはセール品でした)。
①「sail」は帆、②「salt」は塩、③「safe」は安全なという意味の形容詞です。スペルと発音に注意してください！

◆補足：on sale という表現は「特売中」を意味します。for sale という表現は「売り物」を意味します。これらは意味が異なります。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「go shopping」です。「I went shopping with my friends yesterday.」(私は昨日、友達と買い物に行きました)。他の選択肢は、同じ go + -ing のパターンを異なる活動に使っています。①は釣りに行く、②はハイキングに行く、④は泳ぎに行くです。

◆補足：window shopping (ウィンドウショッピング) や online shopping (オンラインショッピング) など、さまざまな種類のショッピングがあります。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③「一日中」です。「all day long」(long は強調のために任意) という表現は、「一日中ずっと」という意味です。例えば、「It rained all day long yesterday.」(昨日は一日中雨が降っていました)。①「毎日」は every day、②「一日おきに」は every other day、④「長い間」は for a long time です。

◆補足：day を他の期間に置き換えることもできます。例えば、all night long (一晩中) や all week long (一週間ずっと) などです。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を約束する」です。「I promise to call you tonight.」(今夜、君に電話すると約束するよ)。①「～を準備する」は prepare、③「～を練習する」は practice、④「～を印刷する」は print です。

◆補足：名詞形も promise (約束) です。「You broke your promise!」(あなたは約束を破った!)。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④「poster」です。「I put up a poster of my favorite band on the wall.」(私は壁に好きなバンドのポスターを貼った。) ①「postcard」は「郵便はがき」、②「letter」は「手紙」、③「paper」は「紙」です。

◆補足：post という動詞には「～を掲示する」という意味があり、そこから派生した言葉です。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「be sick in bed」です。「I had a high fever and was sick in bed all day.」(私は高熱で一日中病気で寝ていました)。①「go to bed early」はいつもより早く寝ること、②「sleep in bed」は単にベッドで眠ること、③「fall out of bed」は寝ている間にベッドから落ちることを意味します。

◆補足：この表現は、病気が安静を要するほど深刻であることを明確に伝えます。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③「get back to」です。一度離れた場所へ「戻る、帰る」という意味で、return to と似た意味で使われる口語的な表現です。①「take back」は「～を返す」の意味で、to ~をくっつければ、その返す先を続けることができます。②「go over to」は「～の方へ行く」、④「get into」は「～へ入る」という意味合いです。

◆補足：get back だけで「戻る」という意味でも使えます。また、get back には「(貸したものなどを) 取り返す」という意味もあります。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「一人で、独力で」です。これは、副詞の alone とほぼ同じ意味で使うことができます。「I went to the museum by myself.」(私は一人で博物館へ行きました。) ②「自分のために」は for oneself、④「自分自身の」は of one's own といった表現になります。

◆補足：oneself の部分は、主語に合わせて変化します。by myself (私一人で)、by yourself (あなた一人で)、by himself (彼一人で) のように使い分けましょう。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「be proud of」です。「I am proud of my son.」(私は息子を誇りに思います)。①「be afraid of」は～を恐れる、②「be tired of」は～に飽きている、④「be fond of」は～が好きである、という意味です。

◆補足：名詞形は **pride** です。「He takes great pride in his work.」（彼は自分の仕事に大きな誇りを持っている）。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「橋」です。「The Seto Ohashi Bridge connects Honshu and Shikoku.」（瀬戸大橋は本州と四国を結んでいます。）②「浜辺」は **beach**、③「縁」は **edge**、④「冷蔵庫」は **fridge** (refrigerator の略) です。

◆補足：「橋を渡る」は **cross the bridge** や **go over the bridge** のように言います。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「e-mail」です。**electronic mail**（電子郵便）の略です。「I'll send you an e-mail later.」（後であなたに E メールを送ります。）①「postcard」は「郵便はがき」、②「letter」は伝統的な「手紙」、③「message」はより広い意味での「伝言」を指します。

◆補足：e-mail は動詞として「～に E メールを送る」という意味でも使えます。単に **email** とハイフンなしで書くことも一般的です。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「未来、将来」です。「What do you want to be in the future?」（将来、何になりたいですか？）という質問はよく使われますね。①「現在」は **present**、②「過去」は **past** です。③「特徴」は **feature** で、音が似ているので注意しましょう。

◆補足：「近い将来に」と言いたいときは **in the near future** という表現を使います。

22.

解答 ④

【解説】

正解は④「at once」です。「今すぐ」と言うよりも少しフォーマルまたは強調した言い方です。例えば、「Please come to my office at once.」（ただちに私の事務所に来てください）。①「at last」はついに、②「at first」は最初は、③「at least」は少なくとも、という意味です。

◆補足：at once と once（一度）や at one time（かつては）を混同しないように注意してください。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「a pair of」です。「I bought a new pair of shoes.」（私は新しい靴を1足買いました）。①「a piece of」は全体からの一つの品物、②「a couple of」は2つか3つのもの、③「a set of」は完全な一組の品物を意味します。

◆補足：これらの品物は一对と見なされるため、名詞自体は複数形になることが多いです（例：shoe**s**, pant**s**, scissor**s**）。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「すぐに、まもなく」です。副詞です。未来の出来事に対して使われます。例えば、「The bus will be here soon.」（バスはまもなくここに来ます）。①「いつも」は always、③「ゆっくり」は slowly、④「たまに」は sometimes です。

◆補足：「See you soon!」（また近いうちに会いましょう！）は、さよならを言う一般的な方法です。as soon as possible（できるだけ早く）という表現は、しばしば ASAP と略されます。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「have to do」です。「～しなければならない」という意味で、must と似ていますが、より口語的で日常会話でよく使われます。「I have to finish this report by five.」（私は5時までにこのレポートを終えなければなりません。）①は「～したい」、②は「～するのが好きだ」、④は「～しようとする」という意味です。

◆補足：否定文の don't have to do は「～する必要はない」という意味になり、「～してはいけない」という禁止の意味の must not とは全く違うので、注意が必要です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④「飛行機」です。「I came to Japan by plane.」（私は飛行機で日本にきました。）①「計画」は plan、②「植物」は plant、③「惑星」は planet で、どれも音が似ているので注意しましょう。

◆補足：plane は airplane を短くした言い方で、日常会話では plane の方がよく使われます。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③「hard」です。動詞の後ろに置かれます。「You have to study hard.」（あなたは一生懸命勉強しなければなりません。）①「hardly」は「ほとんど～ない」という否定の意味になるので、全く違います。注意しましょう。②「difficult」は形容詞で「難しい」、④「strong」は「強く」という意味です。

◆補足：hard は形容詞として「難しい」や「硬い」という意味もあります。This is a hard question.（これは難しい問題です。）のように、文脈で意味を判断しましょう。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「中国の」です。「Chinese」は、国名 China（中国）から派生した言葉で、形容詞として「中国の」、名詞として「中国人」や「中国語」を意味します。問題文は「私は中華料理が好きです」という意味ですね。①「韓国の」は Korean、③「日本の」は Japanese、④「タイの」は Thai です。

◆補足：Chinese characters で「漢字」を意味します。日本語でも漢字を使うので、私たちにも身近な言葉ですね。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「～と連絡を取り続ける」です。「Let's keep in touch.」（これから連絡を取り合いましょう。）は、別れの挨拶としてよく使われます。①は直訳ですが、そのような意味では使いません。

◆補足：反対に「連絡が途絶える」は lose touch with ～ と言います。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③「contact」です。「Please contact us if you have any questions.」（何か質問があれば私たちにご連絡ください）。①「contract」は正式な契約をすること、②「connect」は物事を結びつけること、④「contain」は何かを内部に含んでいることを意味します。

◆補足：contact は名詞としても使われ、「連絡」や「連絡先」を意味します。「Do you have his contact information?」（彼の連絡先を知っていますか？）。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「できるだけ早く」です。「as ~ as possible」で「できるだけ〜」という意味の構文になり、「soon」（すぐに）が入ることで「できるだけ早く」となります。「Please call me back as soon as possible.」（できるだけ早く折り返しお電話ください。）②は as long as possible、③は as soon as、④は if possible という表現になります。

◆補足：この表現は、頭文字をとって“ASAP”と略されることがよくあります。メールやビジネスの場面で頻繁に見かける略語です。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「卒業式」です。「graduation」は「卒業」、「ceremony」は「式典」を意味します。二つ合わせて「卒業式」となります。「The graduation ceremony will be held in March.」（卒業式は3月に行われます。）②「入学式」は entrance ceremony、③「結婚式」は wedding ceremony、④「始業式」は opening ceremony と言います。

◆補足：ceremony の代わりに service を使って graduation service と言うこともあります。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「とにかく、いずれにしても」です。「It was raining, but I went out anyway.」（雨が降っていたけれど、とにかく私は出かけました）。②「どんな道でも」は any way です。③「いつでも」は anytime、④「どこでも」は anywhere です。

◆補足：「Thanks anyway.」は便利な表現です。誰かが助けようとしてくれたがうまくいかなかったときに使います。（結果はともかく）とにかくありがとう、という感謝の気持ちを表します。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③「prepare」です。「We need to prepare for the test.」（私たちはテストの準備をする必要がある）。①「present」は何かを贈ったり、提示したりすること、②「repair」は壊れたものを修理すること、④「prefer」は他のものより一つを好むことを意味します。

◆補足：名詞形は preparation（準備）です。be prepared for ～ という表現は「～の準備ができている」を意味します。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「would like A to do」です。「want A to do」と似ていますが、would like を使うことで、より丁寧な「A に～していただきたいのですが」という響きになります。ビジネスの場面や、目上の人に対してよく使われます。「I would like you to join the meeting.」（あなたに会議に参加していただきたいのですが。）①はより直接的な表現、③は許可、④は依頼を表します。

◆補足：would like to do で「～したいのですが」と、自分の丁寧な願望を表すこともできますね。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を借りる」です。「Can I borrow your pen?」（あなたのペンを借りてもいいですか？）。

①「～を貸す」は lend で、borrow の反対語です。この区別は非常に重要ですので、覚えておきましょう。②「～を買う」は buy、③「～を壊す」は break です。

◆補足：誰から借りるかを特定する場合は、前置詞 from を使います。「I borrowed this book from the library.」（私はこの本を図書館から借りました）。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するのを楽しみに待つ」です。問題文は「あなたにお会いできるのを楽しみにしています」という意味です。手紙やメールの結びの言葉としても定番です。

◆補足：この表現で最も重要なポイントは、to が前置詞であるため、後ろに動詞が来る場合は必ず-ing の形（動名詞）になることです。「look forward to do」と間違えやすいので、しっかり覚えてくださいね。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「holiday」です。「holiday」は、法律で定められた「祝日」や、仕事や学校がない「休日」を指します。「New Year's Day is a national holiday in Japan.」（元日は日本の国民の祝日です。）①「weekday」は「平日」、②「weekend」は「週末」、④「birthday」は「誕生日」です。

◆補足：イギリス英語では、vacation と同じように長い「休暇」の意味でも holiday が使われます。「Happy holidays!」は、特に年末年始の休暇シーズンに使われる挨拶です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「A に B を貸す」です。構造は lend + (人) + (物) です。例えば、「Could you lend me your dictionary?」（あなたの辞書を私に貸してくれませんか?）。①「A に B を借りる」は borrow B from A です。lend と borrow は反対語で、学習者にとって非常に混同しやすい点です。

◆補足：過去形と過去分詞形は lent です。この構造は lend B to A と書けます。「I lent my book to him.」 = 「I lent him my book.」

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「クジラ」です。「A whale is the largest animal on Earth.」（クジラは地球上で最も大きな動物です。）②「イルカ」は dolphin、③「サメ」は shark、④「アザラシ」は seal です。

◆補足：「ホエールウォッチング」は英語で whale watching と言いますね。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「fly」です。「Birds can fly.」(鳥は飛べます。)
「I will fly to Hokkaido tomorrow.」(明日、飛行機で北海道へ行きます。)
①「fry」は「(油で) 揚げる」、③「flow」は「流れる」、④「float」は「浮かぶ」という意味です。

◆補足：fly の過去形は flew、過去分詞形は flown です。不規則動詞なので注意しましょう。名詞として「ハエ」という意味もあります。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①「explain」です。「Could you explain the rule to me?」(私にそのルールを説明していただけますか?)。②「expect」は予期すること、③「express」は感情や意見を示すこと、④「expand」は大きくなることを意味します。

◆補足：名詞形は explanation (説明) です。「Thank you for your explanation.」(ご説明ありがとうございます)。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③「line」です。「Please stand in line.」(列に並んでください。)
①「lane」は道路の「車線」、②「rope」は「ロープ、綱」、④「rule」は「規則」です。

◆補足：「列に並ぶ」は get in line や stand in line と言います。SNS の「LINE」のスペルもこれと同じですね。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②「(人が) 驚いた」です。主語が人のときに使われます。例えば、「I was surprised at the news.」(私はその知らせに驚いた)。
③「(物事が) 驚くべき」は、驚きを引き起こすものを表し、surprising と表現されます(例：「surprising news」)。

◆補足：be surprised at/by ～ という表現は「～に驚く」を意味します。動詞は surprise (驚かせる)、名詞も surprise (驚き) です。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「even」です。「Even a child can understand it.」(子どもでさえそれを理解できる)。①

「ever」は今までに、またはかつて、②「also」は～もまた、④「only」は～だけ、という意味です。

◆補足：even though は「～にもかかわらず」という意味の接続詞です。例：「Even though it was raining, we went out.」(雨が降っていたにもかかわらず、私たちは外出した)。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「something」です。「何か(漠然とした物や事柄)」を意味し、主に肯定文で使われます。

「Let's drink something cold.」(何か冷たいものを飲みましょう。) ①「anything」は、主に疑問文

「Is there anything I can do?」(何か私にできることはありますか?) や、否定文「I don't know anything about it.」(それについて私は何も知りません) で使います。②は「何も～ない」、③は「すべてのこと」です。

◆補足：something や anything などを形容詞が修飾するときは、something cold のように、形容詞が後ろに来るのがポイントです。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「second」です。順番を表す序数詞で、「2 番目の」という意味です。「This is my second visit to Hokkaido.」(北海道を訪れるのはこれが2 回目です。) ①「two」は基数詞の「2」、②

「twice」は回数を表す「2 回」、④「double」は「2 倍の」という意味です。

◆補足：second は、時間の単位である「秒」という意味も持っています。文脈によってどちらの意味か判断しましょう。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④「grandma」です。「I'm going to visit my grandma this weekend.」(今週末、おばあちゃんの家に行く予定です。) ①「grandpa」は「おじいちゃん」、②「mother」は「お母さん」、③

「ma'am」は女性に対する丁寧な呼びかけです。

◆補足：grandmother を略して grandma というように、grandfather は grandpa、mother は mom、father は dad のように、家族の呼び方には親しみを込めた短い形がたくさんあります。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「last time」です。「last」（この前の）と「time」（時）が組み合わさって、「この前の時」、つまり「前回」という意味になります。「I had a lot of fun last time.」（前回はとても楽しかったです。）

①「next time」は「次回、今度」、②「some time」は「いつか」、③「long time」は「長い間」という意味です。

◆補足：the last time の形で、「最後に～した時」と、より強調して言うこともできます。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に到着する」です。動詞「arrive」は「到着する」を意味し、これは自動詞なので、場所の前に at や in のような前置詞が必要です。arrive at は駅や空港などの特定の地点に使われます。例えば、「We arrived at Shinjuku station at 10 a.m.」（私たちは午前 10 時に新宿駅に到着した）。①「～から出発する」は depart from、②「～を見つめる」は look at や stare at、③「～を笑う」は laugh at です。

◆補足：市や国のような広い地域には arrive in が使われます。例：「I arrived in Japan last week.」（先週、日本に到着しました）。
